

県警運転免許課は18日、1月4日から導入する集積回路(IC)カード型運転免許証、県内に住む英語圏などの外国人向けの英文による学科試験

号を入力する必要があり、更新や新規、再交付の手数料はいずれも450円増額となる。英文の学科試験は普通一種、普通仮免許、原動機付き

英文試験の概要を発表

来月4日から発行

の概要を発表した。

新免許証は本籍や氏名、生年月日などを記録したICチップが内蔵されるため、現行より0.26ミリ厚くなる。手続きの際、2組の4けたの暗証番

自転車を対象で、県運転免許センターと穴水試験会場で実施する。県内在住の外国人の運転免許保有者は昨年末現在、前年同期比187人増の3787人となっている。



県警

個人情報保護で本籍を削除

IC運転免許証

県警は来年一月四日、ICカード運転免許証を導入する。現行の免許証とサイズは同じだが、〇・二六ミリ厚くなり、個人情報保護のため本籍が削除される。また、登録情報保護のため、運転免許学科試験は英語も選択できるよつにする。ICカード免許証導入で、各種

県警 来月4日に導入

更新や再交付、新たな取得時など手続き時にすぐ入力できるよう、あらかじめ暗証番号を決めておくよう協力を呼び掛けている。英語試験は県内在住外国人が増えたことを考慮し、県運転免許センター(金沢市)と穴水試験会場で実施。種目は普通一種、普通仮免許、原動機付き自転車を対象になる。(室木泰彦)